

束縛されない、自由な日々

平成27年2月からご入居された

紺野 紀代様

30年住み慣れたハワイを離れ、故郷である熊本に帰ってくることを決断された紺野様。

「主人の仕事の関係で、ハワイに住んでいましたが、主人が亡くなり、ハワイの家に住み続けるにはあまりにも大きすぎるし寂しいから、家を処分して日本に帰る事にしました。」

日本に帰国されるにあたり、お姉様のいらっしゃる関西に行くか、故郷である熊本に戻られるかを考えていた時に、弟様がグランガーデン熊本を見つけてきてくださったそうです。「老人ホーム」って聞いていたから、どういふところなのかと調べて来てみたら、建物はとてもきれいで、設備も良かった。前の家に比べたら、部屋は狭くなるけれど、それは仕方がないことだから。体験入居もしましたが、食事も美味しかったので、ここに住もうと決めました。」と、すぐに決断。

引越は大変だったのではないかと伺うと、「専門家に任せていたので、特に苦労はなかったですよ。ハワイから持ってきた家具も5つしかなく、ほとんど処分して

きました。必要な家具類はこちらに来てから買いそろえたの。入居して1週間くらいはグランガーデンのゲストルームを使わせてもらえたので、不自由はなかったですね」と、安心してご入居いただけたそうです。

グランガーデン熊本に入居されて良かったことを伺うと、「食事が3食用意されているのがとても助かっています。いつも美味しい。朝と夜をレストランで食べて、昼は部屋であるものを食べるけど、電子レンジさえあれば十分だから、台所用品も包丁とまな板くらいしかありません。(笑)

それから、大体の老人ホームは郊外にあって、移動するのに不便なこともあるけれど、ここは街中にあるから、夜でもちゃんと帰ってこられるし、どこに行くにも行きやすい。生活にもほとんど制限がなく、束縛もないから、自由に生活できるところがいいですね。」と、グランガーデンでの生活にもご満足いただいています。

毎朝行われるテレビ体操にも参加され、元気な声で『よいしょ!』とかけ声をかけ

てくださったたり、仲間の皆さまと一緒に卓球をされたりと、とても快活な紺野様は、もともとは家でゆっくりされることを好まれていたとか。「昔はスポーツもする方ではなかったの。ここに入居してからもしばらくは部屋に籠っていましたが、1年くらい経ってから、体操に参加したり、卓球を始めたら、とても楽しくてね。もう5〜6年くらいは続けていますね。最近入居された方が卓球に参加されるようになって、初心者なので、みんなで教えながら楽しくやっています」と、とても充実した日々を送られています。

最後に「集団生活を心配する方もいると思いますが、まずは見学や、体験入居をしてみたりして、実際にグランガーデンを見ていただいたほうがいいですね。」と、アドバイスいただきました。

